

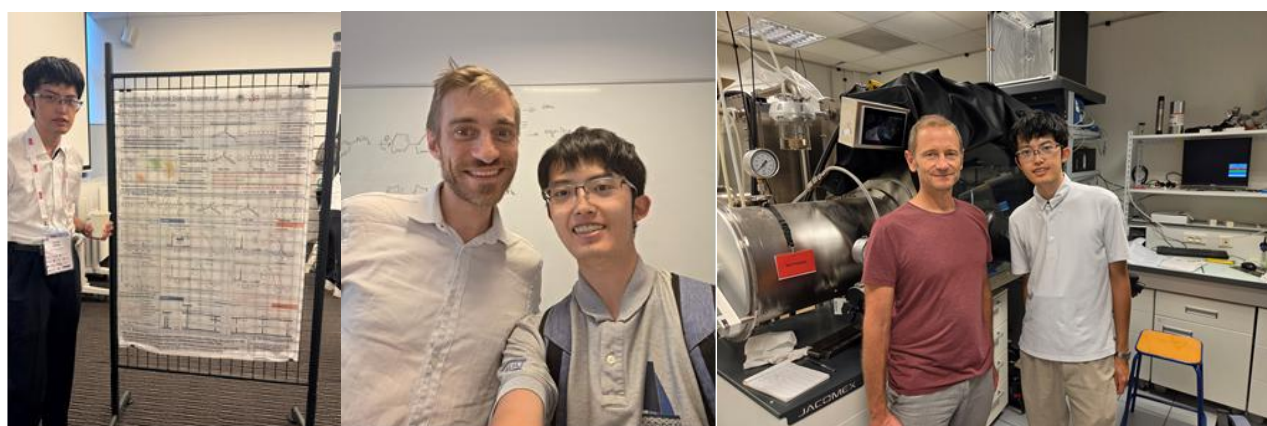
滞在報告

有機元素化学領域 博士後期課程 2 年 鈴木 慎二郎

令和 8 年度若手研究者国際短期派遣事業の支援を受け、2026 年 7 月 12 日から同年 8 月 2 日までの 22 日間、フランスのリヨンに滞在しました。7 月 13 日から 16 日までの 4 日間はリヨン高等師範学校で開催された国際会議に出席し、三日目にはポスター発表も行いました。会期中はフランスでも過酷な暑さに見舞われ、二日目のエクスカージョンでは旧市街の観光が企画されていましたが、辞退者が複数出た結果、日本人での参加者は自分一人となりました。しかしほとんど日陰を移動したため暑さはそれほど気にならず、今後共に実験を行う Denis や、他の海外の先生方と楽しく回ることができ、貴重な経験となりました。また、口頭発表では多くの海外の最新研究を知ることができ、非常に勉強になりました。

7 月 17 日からは同じくリヨン高等師範学校で、Dr. Denis Frath および Dr. Christophe Bucher の指導の下、高次アセンの電気化学的特性の評価実験に取り組みました。研究はなかなか思うように進まなかったものの、Denis や Christophe に非常に親切にして頂き、最終的にヘキサセンの酸化還元電位を測定するという成果を出すことができました。また、研究所は日本との共通点もあれば、居室が研究室単位で区切られていないなどの相違点も多くあり、非常に新鮮な経験でした。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださった京都大学化学研究所およびリヨン高等師範学校の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



ポスター発表の様子(左)、Denis との写真(中央)、Christophe との写真(右)